

関連科目、教科書および補助教材

関連科目	現代社会、倫理、世界史、日本史
教科書	「はじめての法律学 - HとJの物語 第4版」 松井茂記、松宮孝明、曾野裕夫(有斐閣アルマ)
補助教材等	「法学六法」石川明ほか(信山社)

学習上の留意点

日本は法の支配する立憲国家である。日本における様々な制度の背景には法が存在し、これらの制度が我々の生活を支えている。法学を学習する際には、我々の生活と法が密接な関係にあることを念頭に置く必要がある。成績については、年4回の中間・期末試験に加え、講義の際に行う小テストの結果を総合的に評価する。

担当教員からのメッセージ

上述のように、法と我々の生活は、非常に関係の深いものです。講義の中でも様々な判例を取り上げますが、日ごろのニュースなどを見て、そのニュースの背景に、いかなる法、いかなる制度が存在するのかを考えてみてください。

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	法とは何か—法学の基礎知識 1	シラバスの趣旨を理解できる。社会規範の一つである法が、他の規範とどのような点で異なっているかを説明できる。	シラバスを確認する
2	法とは何か—法学の基礎知識 2	法の分類を説明できる。	配布資料をよく読む
3	刑法1 犯罪と刑罰	日本における刑罰の種類をすべて指摘することができる。	配布資料をよく読む
4	刑法2 構成要件	犯罪成立要件のうち、構成要件該当性(実行行為、因果関係)とはどのような要件であるか説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
5	刑法3 違法性	犯罪成立要件のうち、違法性とはどのような要件であるか説明できる。また、違法性阻却事由を指摘することができる。	教科書と配布資料をよく読む
6	刑法4 責任	犯罪成立要件のうち、責任について説明できる。責任阻却事由を指摘することができる。	教科書と配布資料をよく読む
7	刑法5 共犯	犯罪が複数人で行われた場合や、犯罪行為が行われたが結果が発生しなかった場合など、特殊な事案の例を指摘することができる	過去の配布資料等を確認し、中間試験に備える
8	中間試験		
9	刑事訴訟法1 刑事手続きの流れ	刑事訴訟の大まかな流れを把握し、説明できる。また、民事訴訟との違いを簡単に説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
10	刑事訴訟法2 被疑者・被告人の人権	憲法における人身の自由として、被疑者・被告人の権利が保障されていることを理解する	教科書と配布資料をよく読む
11	刑事法の現代的課題	少年犯罪や自動車事故等における厳罰化の傾向と、その問題点について理解する	教科書と配布資料をよく読む
12	民法1 不法行為法	犯罪と不法行為の違いを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
13	民法1 不法行為法	民事訴訟と保険制度の関係、及び一般的不法行為の成立要件を説明できる。	教科書と配布資料をよく読む。過去の配布資料等を確認し、期末試験に備える
14	民法1 不法行為法	民法709条の例外となる特殊不法行為について、なぜ特殊不法行為が必要とされるのか、また一般的不法行為との相違がどこにあるかを説明できる。	配布資料をよく読む。過去の配布資料等を確認し、期末試験に備える
前期末試験			
15	答案返却・解説	試験の解説により、自分の間違っていたところを確認する。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	民法2 財産法	法律行為とはどのような効果をもたらすかを説明できる。私的自治の原則が、我々の生活においてどのような役割を果たしているかを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
17	民法2 財産法	法律行為の主体となる「人」について、権利能力、意思能力、行為能力の関係を説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
18	民法2 財産法	契約が有効に成立しない事例を説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
19	民法2 財産法	私法の領域において、なぜ消費者を保護する必要があるのか、またどのような形で保護されるのかを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
20	民法3 家族法	法律上の家族の範囲、および、家族間に生じる権利と義務(主として親子関係)を指摘できる。	教科書と配布資料をよく読む
21	民法3 家族法	男女の婚姻の成立と解消の効果、現代社会における「夫婦」の問題を説明できる。また、相続権について基本的な説明ができる。	過去の配布資料等を確認し、中間試験に備える
22	中間試験		
23	裁判員制度について	裁判員制度に関するビデオを視聴する。国民が刑事司法にどのような形で関与できるかを説明できる。	
24	憲法1 憲法の役割	近代憲法の制定過程、および現代社会において「最高法規」である憲法がどのような役割を果たしているかを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
25	憲法2 基本原理	日本国憲法の三大原理を指摘できる。	教科書と配布資料をよく読む
26	憲法3 統治機構	日本の政治の仕組みを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
27	憲法4 基本的人権	基本的人権のうち、主に自由権にはどのようなものがあるかを指摘できる。また、近代憲法の制定過程と関連して、なぜ自由権が保障されなければならないかを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
28	憲法4 基本的人権	基本的人権のうち、社会権にはどのようなものがあるかを指摘できる。また、現代国家がなぜ社会福祉に配慮しなければならないか、自由権と社会権の役割の違いを説明できる。	教科書と配布資料をよく読む
29	まとめ	1年間の法学の講義を復習する。日本の法制度の構造を説明できる。	配布資料をよく読む。過去の配布資料等を確認し、学年末試験に備える
学年末試験			
30	答案返却・解説	試験の解説により、自分の間違っていたところを確認する。	
総学習時間数			90時間
講義			60時間
自学自習			30時間